

令和6(2024)年度 栃木県立鹿沼高等学校 学校評価《自己評価》 (概要版)

重点目標		評価項目	自己評価	実施状況及び今後の対応
I	学力の向上を図り、生徒一人ひとりの進路希望を実現する	○授業の質向上に向けた取り組み状況 ○新学習指導要領を踏まえた授業実践と観点別評価の実施状況 ○進路指導の充実に向けた取り組み状況	B	○多くの教科で電子黒板やタブレット端末の活用、課題解決型授業の導入等により授業の質向上を図った。研究授業も充実したものであった。教員相互の授業見学の機会がさらに増えるよう努めたい。 ○各教科で「生徒主体」を意識した授業の工夫に努めるとともに、評価方法の研究・共有に努めた。今後も研究を進めるとともに、教科間での情報共有も図りたい。 ○スタディサプリを活用したオープンキャンパス事前研究や進研模試デジタルサービスを活用した志望校設定等、希望進路を具体化する仕組みを充実させることができた。今後も継続に努めたい。
II	豊かな人間性を育み、志の高い自主自立の精神に満ちた生徒を育成する	○学校行事や部活動の実施状況 ○クリエイトの時間（総合的な学習の時間）やクリエイティブフォーラムの実施状況 ○挨拶の励行と清掃活動の充実に向けた取り組み状況	B	○今年度も部活動加入率は86.6%と高く、また多くの部活動で関東大会や全国大会に出場することができ、多くの生徒が本校の特色である文武両道を体現できた。 ○クリエイティブフォーラムの全体発表会ではどのグループも内容・プレゼンテーションのいずれにおいても質の高いものであった。今後さらに探究を深め自己の進路に結び付けられるような活動を継続したい。 ○各種行事における美化活動を生徒中心に行うことができた。毎日の清掃も生徒が自主的に活動しており、多くの生徒が積極的に挨拶している。今後も継続していきたい。
III	安心安全な学校環境の確保と開かれた学校づくりを推進する	○いじめ防止に取り組む体制の整備・運用状況、生徒支援体制の拡充状況 ○教育活動の広報と公開の実施状況 ○創立100周年に向けた同窓会・PTAとの連携および校内準備委員会の取り組み状況	B	○課題を抱える生徒や支援を必要とする生徒に対して、学年や教育相談係・スクールカウンセラーとの連携により組織的に対応することができた。 ○学校ホームページを活用した情報発信については、関係各部の意識も高まり、アップロード数は増加している。今後もさらに情報発信に努めたい。 ○今年度から100周年記念事業に向けた各種委員会の活動が本格化し、同窓会やPTAと連携して具体的な準備を進めることができた。実施年度となる来年度は全職員・全生徒の機運をさらに高め、学校全体で記念事業の成功に向けて取り組んでいきたい。